

令和5年6月2日に日本へ上陸した台風第2号による出水対応時、三郷排水機場（総排水量 200 m³/s）の一部ポンプにおいて一時停止状態が発生し、フル稼働できない状況であった。その後、停止した要因の分析及び新たな対応を実施し、その後の運転実績を踏まえ、現在は従来通り正常に運転可能である。

1. 三郷排水機場の概要

三郷排水機場は、中川と江戸川を結ぶ三郷放水路の江戸川側に位置し、以下の目的を有している機場

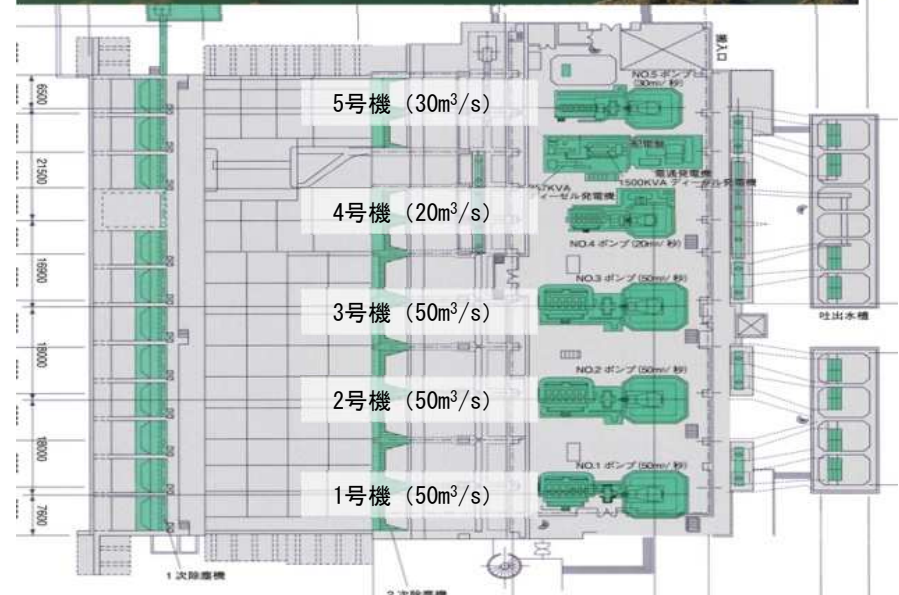
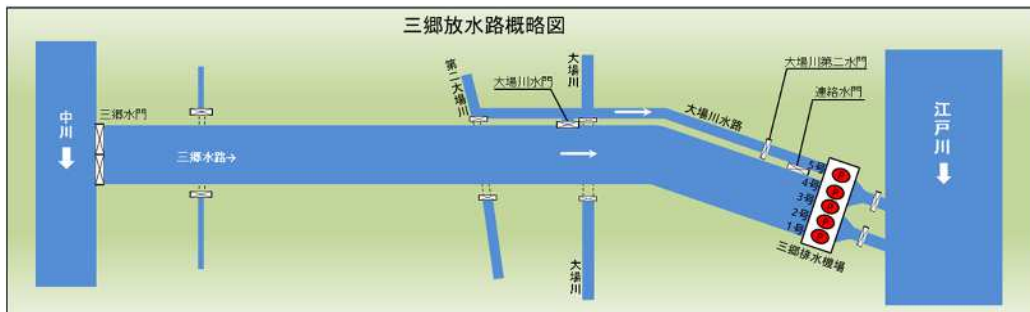
- (1) 中川上流域の浸水防除
- (2) 中川下流部の洪水に対する安全度の向上
- (3) 大場川流域の内水排除
- (4) 高潮時の中川流域の水位上昇緩和
- (5) 中川の水質浄化
- (6) 江戸川の利水の安定化

設置場所：埼玉県三郷市新和地先

完成年：昭和54年3月 1, 4, 5号ポンプ
 平成6年3月 2号ポンプ
 平成8年3月 3号ポンプ

ポンプ：立軸渦巻斜流ポンプ

吐出量：1, 2, 3号 50m³/s
 4号 20m³/s
 5号 30m³/s



2. 台風第2号による出水対応時 一時的に一部ポンプが停止した要因

主ポンプ設備軸受部の冷却水に河川水を使用しており、河川水に含まれる塵芥を除去するために3段階の設備が設置されている。このうち最終の設備（二次オートストレーナ）に多量の塵芥が混入し、フィルター部に塵芥が目詰まりしたことにより冷却水が不足し、安全装置が働き主ポンプが停止した。

三郷排水機場においては、台風第2号の出水により操作水位に応じて6月2日17時頃から6月4日9時頃まで約40時間稼働した。そのうち二次オートストレーナの塵芥撤去のため、6月3日の2回、6月4日の1回、各1時間程度（合計3時間程度）ポンプ停止を行った。

機器冷却水用塵芥処理設備



①ネット式除塵機
目幅: 10mm

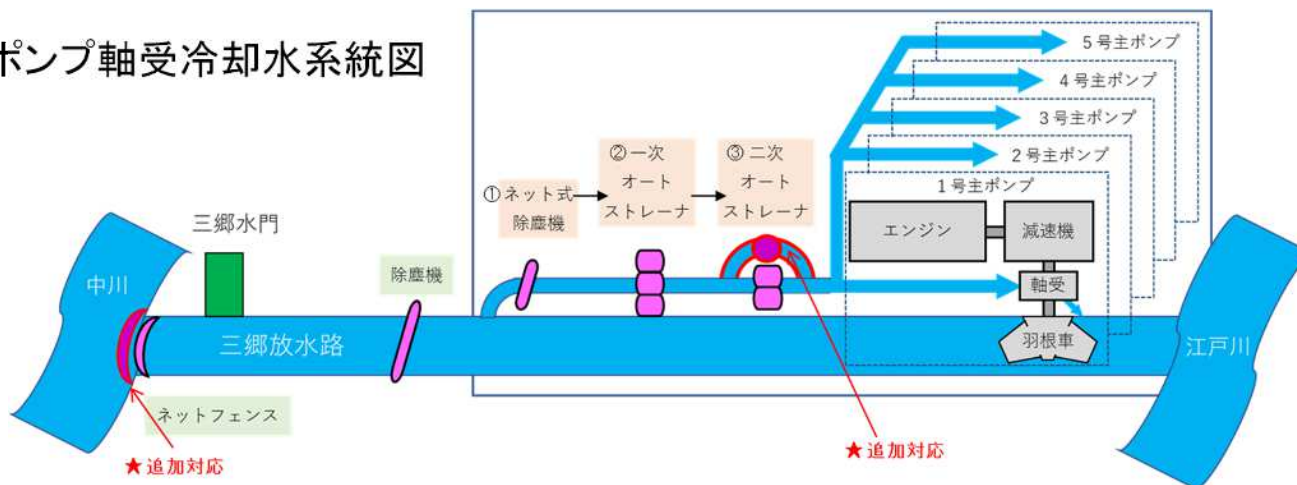


②一次オートストレーナ
目幅: 1.5mm



③二次オートストレーナ
目幅: 0.25mm

主ポンプ軸受冷却水系統図



二次オートストレーナ詰まった塵芥 (一部)

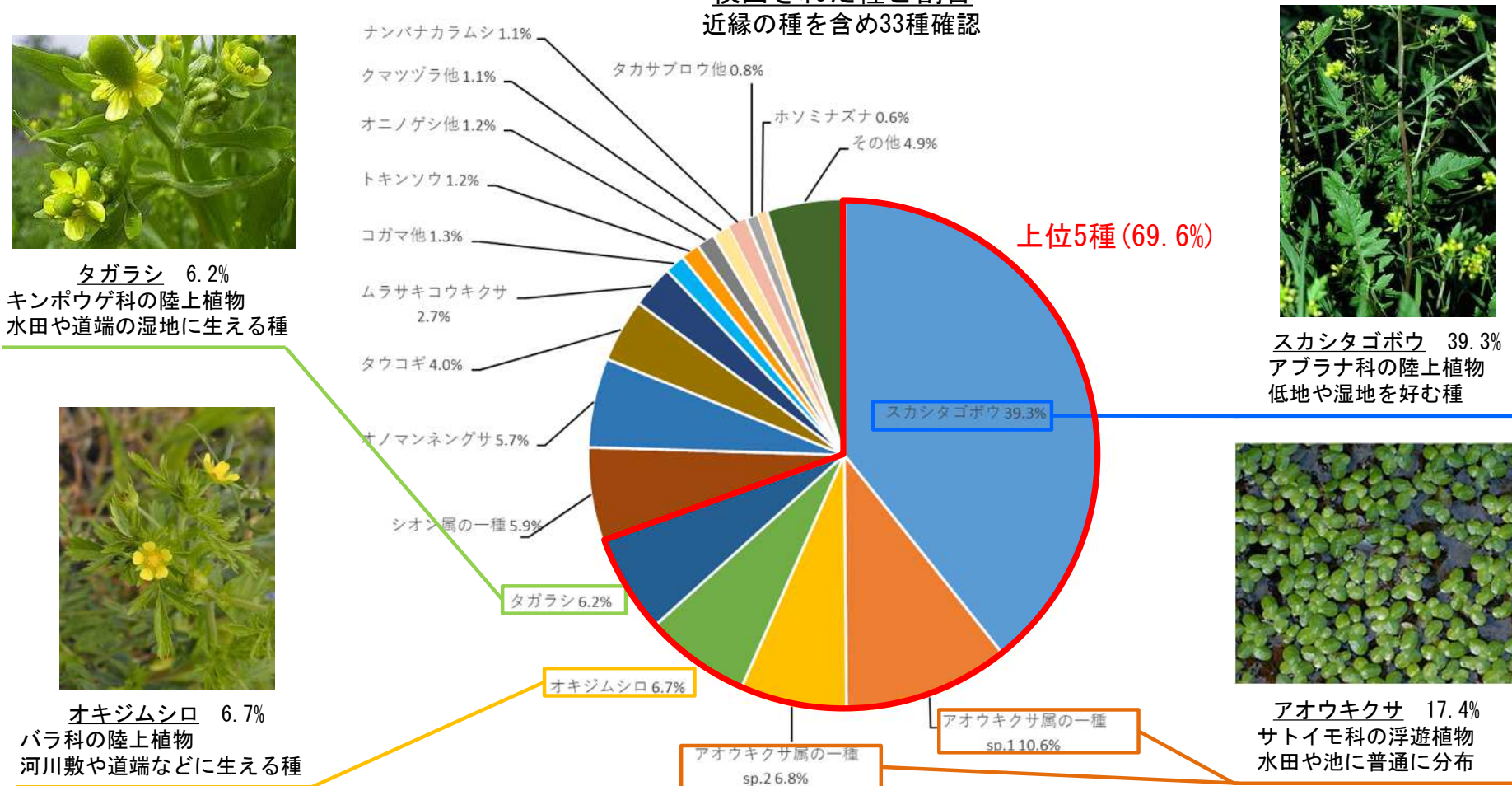
3. 塵芥の分析結果

採取した塵芥（植物片の残渣）からDNA分析を行った結果、33種（陸上24種、抽水2種、浮遊7種）の植物が検出され、上位5種（陸上3種、浮遊2種）で全体の7割（69.6%）を占めており、それらは河川敷の水際や水田等の湿地に生える生態の植物である。

一方、堤防で確認されているシバ、チガヤ、カラシナ、セイバンモロコシ等の種は、検出された33種に含まれていなかった。

これらのことから、塵芥は水際に生息する植物由来のものであることを確認した。

検出された種と割合
近縁の種を含め33種確認



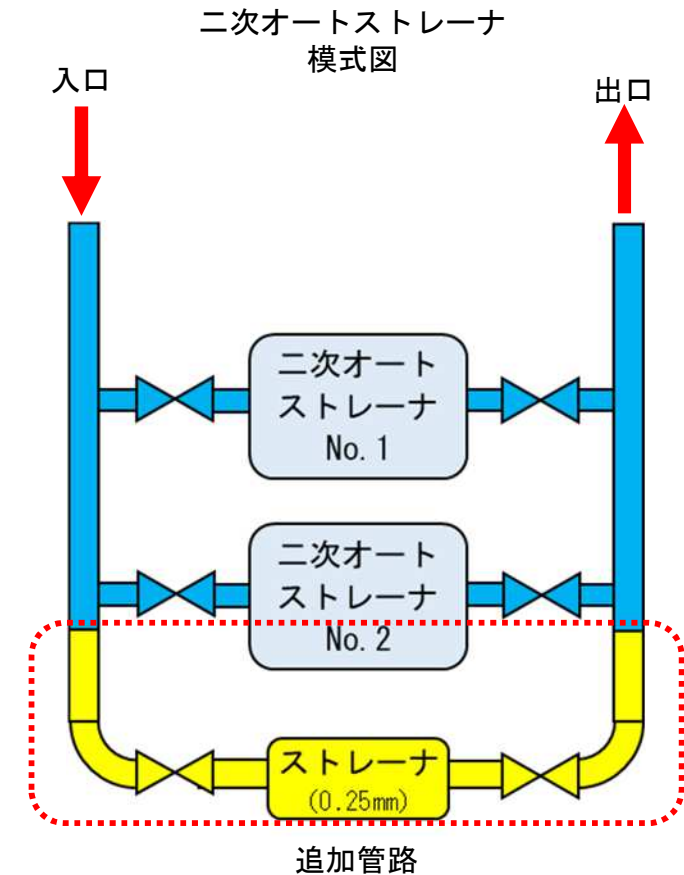
4. 対応

①二次オートストレーナ追加管路設置

台風第2号前の点検で、二次オートストレーナのフィルター一部を確認した際には、塵芥は付着していなかった。

これまで2台の二次オートストレーナに塵芥の目詰まりによるポンプ停止した事象はなかったが、今回の事象を受け二次オートストレーナと同じ濾過性能を持つストレーナを有する管路を追加設置し、ストレーナ機能に冗長性を持たせ、今回のような不測の事態への対応を強化した。

今後は、運転時の確認及び運転後のオートストレーナ内部の点検を強化する。



5. 三郷排水機場二次冷却系統対策概要

今回不具合が生じた二次冷却系統について、段階的に以下の対策を行います。

	応急対策	暫定対策	恒久対策
対策概要	追加管路設置 (Y型ストレーナ付管路)	二次オートストレーナ強化 (加圧逆洗式)	軸封水上水化
概要図	<p>河川水→ 一次オートストレーナ</p> <p>追加管路</p> <p>軸封部へ</p>	<p>河川水→ 一次オートストレーナ</p> <p>【更新】 二次オート ストレーナ No.1 (P)</p> <p>【更新】 二次オート ストレーナ No.2 (P)</p> <p>軸封部へ</p>	<p>上水</p> <p>清水槽</p> <p>※・利水運転時 ・上水断水時バックアップ</p> <p>軸封部へ</p>
効果発揮	対応済 (R5. 6. 28)	令和6年度出水期迄に対応	令和7年度出水期迄に対応